

チーム えがお

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子



～ えがお かがやき かんばる 学校 困うえんだん 「チーム北川」～



**新たな学校教育目標に向かって！
ご支援・ご協力をお願いいたします！**



～ お子様のご進級・ご入学おめでとうございます ～



4月6日(水)から、いよいよ新学期が始まりました。そして、7日(木)には13名の児童が入学しました。本年度の笠岡市立北川小学校は、新1年生13名を迎えて、2年生19名、3年生23名、4年生24名、5年生12名、6年生18名の全校児童109名でスタートしました。

校庭の満開の桜のように、学校はフレッシュな1年生と進級の喜びで張り切る2年生から6年生の子どもたちの活気に満ちあふれています。特に、最高学年となった6年生の、新しい教職員と対面する着任式や始業式での立派な態度や、始業式後の入学式準備でのてきぱきとした動き、そして入学式での「歓迎の言葉」から、最高学年としての自覚がはっきりとうかがえました。この一年間、北川小学校の機関車として下学年を引っばっていこうという意欲が強く感じられます。

そんな子どもたちに負けないよう、私たちも新年度のスタートに当たって、昨年度から取り組んでいる「Ⅰ 魅力ある学校・学級づくり」「Ⅱ 地域とともにある学校づくり」「Ⅲ 北川小学校A B C Dの原則の推進」に全教職員で取り組まなければと、気持ちを新たにしているところです。本校が、子どもにとって「行きたい」、保護者にとって「行かせたい」、地域にとって「自慢したい」学校となるよう本年度もがんばります。具体的には、①基礎学力の定着、②人間関係づくり、③規範意識の醸成に力を入れた教育活動に取り組みます。

また、平成28年度中に、文部科学省から小学校教育の基準となる新しい「学習指導要領」の内容が示される予定です。これを受け、小学校においては平成32年度から新しい学習指導要領が完全実施される見込みです。主な改訂のポイントは、思考力や表現力を主体的に育む「アクティブラーニング」(課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)を重視する方針となり、現行の「外国語活動」を中学年に、「英語」の教科化を高学年に、そして現行の「道徳」を「特別の教科」へ位置付けるといった点です。

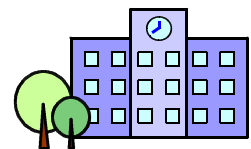
こうした教育に関わる動向や子どもの実態等を踏まえて、新年度から学校教育目標を新しくしました。学校教育目標は、本校の教育の基となる、重要なものです。どの教室でも正面に「学級目標」が掲げられています。その基となるのが、「学校教育目標」です。北川小学校では、「こんな子どもを育てます!」という、学校(教育)の柱と言える、とても大切なものです。

【学校教育目標】 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」



【目指す子ども像】

- 「かしこく」自ら学ぶ子 (学び合い)
- 「やさしく」心豊かな子 (認め合い)
- 「たくましく」やりぬく子 (きたえ合い)



※ () は、集団として目指す姿です。

本年度は、「かしこく」「やさしく」「たくましく」をキーワードに、学校教育目標の具現化に、全教職員が力を合わせて取り組みます。そのためにも、本年度は「もっと つなぐ・つながる」を合言葉にしたいと思えます。ご家庭でのご理解とご協力、地域の皆様のご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。